

家庭教育 なう vol.1



2022年4月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 嶋倉
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 〈内線209〉
 FAX 0573-25-7129
 Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp

進めたいと思っています。新しい形式のリーダー研修会です。皆さんで知恵と力を出しあって、今年度さらに、この地域の家庭教育をますます活発なものにできるように進めたいと思っています。

います。新しい形式のリーダー研修会です。皆さんで知恵と力を出しあって、今年度さらに、この地域の家庭教育をますます活発なものにできるように進めたいと思っています。

研修会を企画しました。研修会をなるべく短時間で済ませたい。事前に動画を事前に集めておく。事前に動画を事前に集めておく。事前に動画を事前に集めておく。



今年度の家庭教育(学級)リーダー研修会は、学級形式をとっているか、そうでないかに関わらず、家庭教育実践・支援する皆さん同士で知恵を出し合い、家庭教育をさらに広めていく会にできれば素敵だと願っています。

令和4年度 東濃地区
家庭教育(学級)リーダー研修会

事前研修

オンデマンド研修 (Youtube視聴) 令和4年3月～5月

<https://youtu.be/DEnxvVIGk0Q>
 令和4年度家庭教育リーダー研修会(11分)



自宅で好きな時間にYouTube動画を視聴して学びます。

＜主な内容＞

- 家庭教育・家庭教育学級のねらい
- コロナ禍でも実施可能な家庭教育学級の在り方

<https://youtu.be/565Ehwz1CDs>
 約東運動やってみよう!(和知小学校編)(12分)



本研修

各サテライト会場での研修 令和4年5月26日(木)

各市のサテライト会場に市内の関係者に集まっていただき、研修します。メイン会場(恵那総合庁舎)とサテライト会場をつないでライブ配信のあと、小グループで意見交流を行います。

＜全体会(オンライン配信)の主な内容＞

家庭教育支援条例の理解・家庭教育学級プログラム・家庭教育(学級)の実践例など紹介

小中学校の部

午後2時～午後3時30分

＜対象者＞

小中学校の家庭教育学級リーダー、家庭教育担当教員等

＜全体会＞上記参照

＜交流会＞サテライト会場ごとに小グループで意見交流を行います(サロン型研修です)。

＜交流会の主な内容＞

- 年間計画の交流、
- 学級運営の工夫、
- 情報交換など

幼保乳幼児の部

午前10時～午前11時30分

＜対象者＞

幼稚園保育園こども園等の家庭教育担当職員や保護者リーダー、公民館等の乳幼児学級担当者や保護者リーダーなど

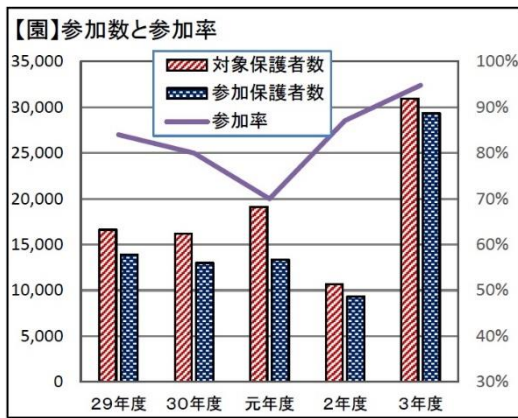
＜全体会＞上記参照

＜交流会＞サテライト会場ごとに小グループで意見交流を行います(サロン型研修です)。

＜交流会の主な内容＞

- 家庭教育にかかる年間計画の交流
- 情報交流など

昨年度末に各市を通じてお願いした家庭教育学級調査の結果がまとまりました。お忙しいところを丁寧にご回答いただき誠にありがとうございます。この紙面でその結果を報告させていただきます。



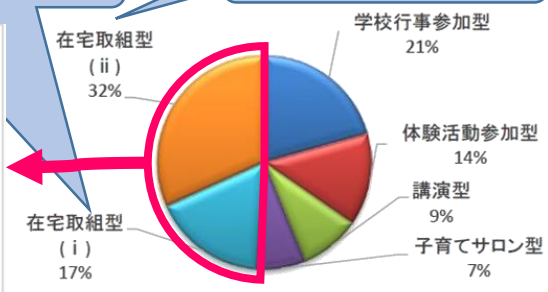
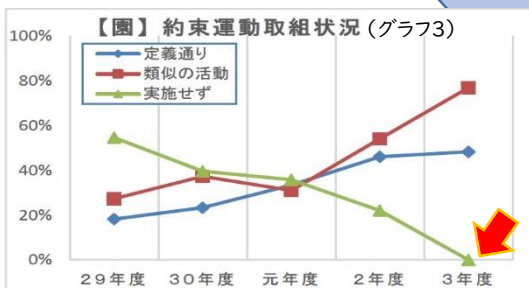
園での家庭教育への参加数と参加率の推移(グラフ1)

まず、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響が大きくなり、予定通りの家庭教育学級等ができなかったことや苦しい実施状況がこの調査から伝わってきました。しかしその一方で、幼稚園保育園こども園等(以下、園とします)での家庭教育支援のご実践をたくさん報告していただき、多くの保護者に対する家庭教育支援がなされていることがよくわかりました(グラフ)。グラフからは昨年までより倍増しているように読み取れますが、以前からずっと続けている取組も家庭教育支援の一つとしてカウントしたため職員のためと推察します。園長先生をはじめ職員の皆様のご努力に深く感謝いたします。

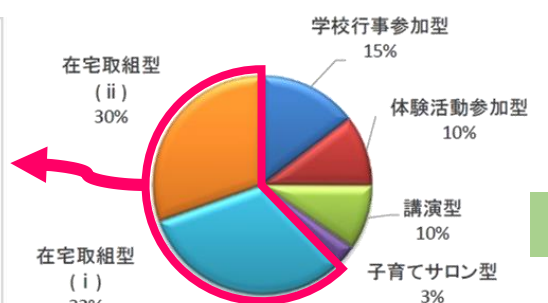
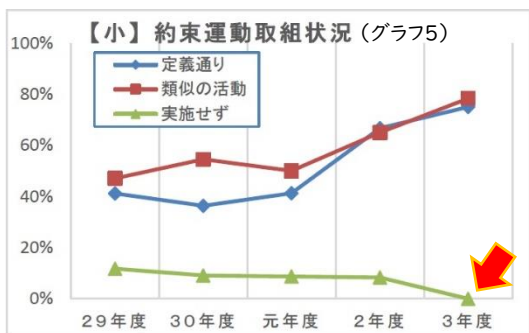
園の家庭教育、参加者が倍増!

在宅取組型(i)はいわゆる「話そう!語ろう!わが家の約束」運動のこと

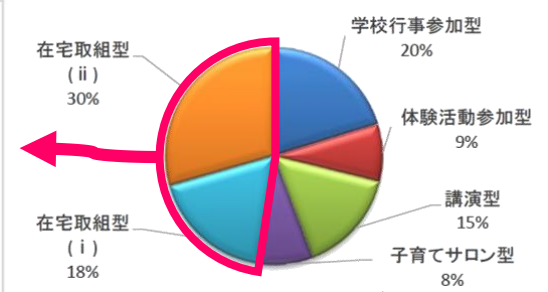
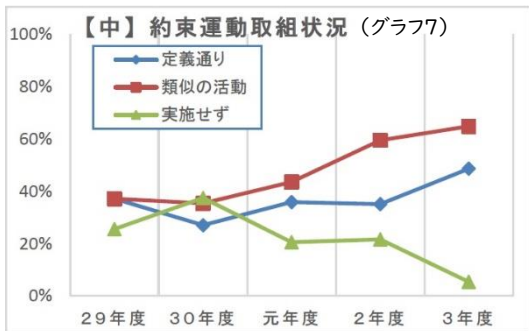
(ii)は(i)に類する取り組み



園での家庭教育 形態の割合(グラフ2)



小学校での家庭教育 形態の割合(グラフ4)



中学校での家庭教育 形態の割合(グラフ6)

昨年度、学校や園で行われた家庭教育学級の形態は、グラフ2、4、6のようにその多くが在宅取組型でした。小学校では実に62%にもなります。グラフ3、5、7をみると、2年度よりも増加していることがわかります。そして、調査いただいたすべての園と小学校で、約束運動かそれ以外の

園・小で100%!

する取組のいずれかに取り組んでいた。100%です(グラフ3、5)。つまり、実施率特別な取組ではなく、今までもずっと継続して行われていた取組を家庭教育支援と位置付けていただけただけのことによって、今回の結果となったものと考えます。

「家庭教育なう」の運営は家庭教育学級の運営の中心になっていただいている皆様をはじめ、学校や園の先生方、また広く家庭教育を推進してくださっている皆さんに向けて情報をお届けするおたよりです。各所で工夫して行われている家庭教育の様子や、子育てのヒントになる情報を提供します。子育てを通して親同士がつながり、親も成長できるすてきな家庭教育のネットワークを作ります。お手伝いが出て来たら素敵だと思ってい

「家庭教育なう」バックナンバー

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/15928.html>